

俳句の可能性（４）

>>> T O S S 福井 村上睦

概要

中３光村。尾崎放哉の句と津沢マサ子の句で、「有季／無季」および「定型／自由律」という形式を教える。その後、教科書に載っている１６句から７句を指定し、中から好きな俳句を選んで鑑賞文を書かせた。

俳句の形式

教科書で尾崎放哉「咳をしても一人」の句を読む。
追い読み、一斉読みなどで数回読む。

■ ３文字ずつ区切って読みます。

「せきを・しても・ひとり」

■ 普通の俳句は何音ずつ区切れますか？

５・７・５

教科書 P 6 0 の 8 行目～ 1 0 行目を追い読みで読む。

■ 尾崎放哉の俳句は、何という形式ですか？

自由律俳句

津沢マサ子「灰色の象のかたちを見にゆかん」の句を読む。
追い読み、一斉読みなどで数回読む。

教科書 1 0 行目～ 1 2 行目を追い読みで読む。

■ 津沢マサ子の俳句は、何という形式ですか？

無季俳句

■ 俳句には、「有季／無季」、「定型／自由律」という形式の違いがあります。
違いを簡単に説明する。

■ これらの組み合わせで、俳句には 4 種類の形式があります。

板書

	有季	無季
定型		
自由律		

ノートに写させ、空欄を埋めるように指示する。

鑑賞文

教科書に載っている 16 句の中から 7 句を指定して、印を付けさせる。

7 句を一通り音読する。

■全員起立。この 7 句を 1 回ずつ読みます。全部読んだらもう 1 回同じように読みます。それが終わったら座りなさい。

■この中から好きな句を 1 つ選んで、鑑賞文を書きます。

書き方を説明する。

- ・ 400 字詰め原稿用紙の 1 行目に俳句と作者名を書く。
- ・ 2 行目から、今までと同じように鑑賞文を書く。(200 字を 2 段落構成で書く。前半に句の大意、後半に読み取りの根拠。)
- ・ 左半分に、句を読んだ感想を書く。

生徒の鑑賞文

ちるさくら海あをければ海へちる 高屋窓秋

春の天気の良い日、作者は海岸沿いを一人で歩いていた。ふと近くの島を見ると、一本の桜の木があり、桜がきれいに咲いている。少し風が吹いて、花びらが海へと散り、水面に浮かぶ景色がとてもきれいで見とれていく。

「さくら」という言葉から、季節は春だということがわかる。桜の花びらの淡いピンクと、海の深い青が対比されていて、とてもきれいな風景を表現している。

私は、この詩を読んで、「ちる」という言葉があるので、何か悲しいことを表した詩なのかと思いました。でも、よく読むと、さくらと海が対比されていることに気づきました。海の青にちる、桜のピンクがとてもきれいなので、作者のすがすがしい気持ちが表れていると思います。少し、息詰まることがあっても、それを別の方向からみると、よくも考えられるのではないかと思います。

咳をする母を見上げてゐる子かな 中村汀女

この句は、風邪をひいている母を心配する子の姿を表現している。子はまだ小学校に行っていないで、いつものように母と遊んでもらおうと思ったら、いつも元気な母がつらそうに咳をしていた。すると子は心配になり、「どうしたの？」と母を見上げたのである。

「見上げてゐる」という言葉から、子がまだ小さいことがわかる。

私は、この俳句の子は、いつも通り遊んでもらおうと笑顔でお母さんのところにいったら、いつも元気なお母さんがつらそうにせきをしていて、「どうしたんだろう」ととても心配になったんだと思う。きっとこのお母さんはいつもやさしいお母さんだったんだと思う。それだけに、子の心配も、とても大きかったと思う。この俳句は母と子の愛情を、表現しているんだと思った。

補足

ほぼ全員の生徒が、自分なりの鑑賞文 + 感想を書くことができた。
(字数が 400 字に満たないものが多かった。手がかりなしで情景を想像するのは、まだ難しかったようだ。)